



事務連絡  
令和5年7月26日

各都道府県教育委員会  
教科書関係事務主管課 御中

文部科学省初等中等教育局教科書課

令和6年度使用教科書に係る音声教材の需要数調査について（依頼）

日頃より、教科用特定図書等の普及について、御尽力いただきありがとうございます。

文部科学省では、平成26年度より、通常の検定教科書で一般的に使用される文字や図形等を認識することが困難な児童生徒に向けた音声教材の効率的な製作方法等について、調査研究を行っているところです。

音声教材は、発達障害等により通常の検定教科書等で一般的に使用される文字や図形等を認識することが困難な児童生徒に向けた教材で、「印刷されている文字等の認識に困難のある児童生徒は、音声教材により内容に対する理解が深まる<sup>1</sup>」など、学習の際に一定の効果があると考えられています。

については、音声教材を必要とする障害のある児童生徒の把握を行うとともに、これらの児童生徒に音声教材が安定的に供給できるよう、別紙のとおり需要数調査を行いますので、御協力いただきますようお願いいたします。調査にあたっては、教科書関係事務主管課のみではなく、特別支援教育関係事務主管課とも連携を図り、音声教材需要数の適切な把握に努めていただきますようお願いいたします。

御多忙の折、お手数をおかけいたしますが、別添の調査様式にて都道府県ごとに取りまとめの上、令和5年10月27日（金）までに提出いただきますようお願いいたします。

**【本件照会先】**

文部科学省初等中等教育局教科書課

教科用特定図書普及促進係 嘉村、鈴木

TEL 03-5253-4111（4743）

e-mail kyokasyo@mext.go.jp

<sup>1</sup> 「障害のある児童生徒の教材の充実について 報告」（平成25年8月28日 障害のある児童生徒の教材の充実に関する検討会）

## 1 調査内容

国立、公立及び私立の小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程及び特別支援学校（小学部、中学部）において、令和6年度に使用される検定教科書に対応した音声教材について、障害によりこれを必要とする児童生徒の数及び音声教材の需要数。

## 2 対象となる音声教材について

文部科学省の委託事業である「音声教材の効率的な製作方法等に関する調査研究」において、以下の受託団体が製作・提供している音声教材。

- ①「マルチメディアデジ教科書」公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会
- ②「AccessReading」東京大学先端科学技術研究センター
- ③「音声教材 BEAM」特定非営利活動法人エッジ
- ④「ペンでタッチすると読める音声付教科書」茨城大学
- ⑤「文字・画像付き音声教材」広島大学
- ⑥「UNLOCK」愛媛大学教育学部

※音声教材の概要は別添1及び別添2をご参照ください。

※音声教材の普及促進に資するため、音声教材普及推進会議を実施します。詳細については別添3をご参照ください。

## 3 留意事項

- (1) 本調査は、音声教材の需要数の大まかな把握により、音声教材製作団体の製作準備を円滑に進め、もって、必要な児童生徒への安定的な教材の提供を目的とするものであるため、本調査に需要の報告をいただいた場合でも、教材の提供を受けるためには、上記団体への利用申請が必要となります。

※利用に当たって、教材に係る費用は原則として発生しません。ただし、教材を再生するためのパソコンやタブレット等の端末は、各自又は学校等で準備していただく必要があります。

※上記6団体は、令和5年度において文部科学省委託事業を受託している団体であり、令和6年度の受託団体は未定です。

- (2) 本調査提出時において、需要の報告がなされていなかった場合であっても、音声教材の利用申請は随時可能です。本調査以降の状況の変更等により、音声教材が必要な状況が生じた場合は、適宜、音声教材製作団体に利用申請を行ってください。
- (3) 本調査は令和6年度使用の教科書に対応した音声教材の需要数調査ですが、令和5年度の使用教科書についても、現在上記団体において、教材の提供を行っています。今年度の教科書に関し、音声教材の利用を希望される場合は、上記団体にお問い合わせください。
- (4) 本調査結果の推移やその要因を確認するため、障害により音声教材を必要とする又は必要と見込まれる児童生徒の数について、前年度の調査結果に比べて **25%以上**の増減がある場合や、例年必要児童生徒数が少ない場合は、考えられるその増減等の要因についても御回答をお願いします。

#### 4 提出方法（提出期限：令和5年10月27日（金））

各都道府県にて取りまとめの上、クラウドストレージサービス box へアップロードしてください。

※事情によりアップロードが難しい場合は、電子メールによる提出も可。

提出先：（box へのアップロードの場合のアップロード先 URL）

<https://mext.ent.box.com/f/fa6d360710904350b4fe3699a3dcde88>

（電子メールの場合の宛先）

[kyokasyo@mext.go.jp](mailto:kyokasyo@mext.go.jp)

※メールの件名は「【都道府県番号・〇〇県】令和6年度使用教科書に係る音声教材の需要数調査」としてください。（県番号や〇〇県に、各都道府県の情報に記載ください。）

※ファイル名には都道府県番号・都道府県名を記入し、エクセルファイルのまま提出してください。

#### 5 調査結果について

本調査の結果は、文部科学省ホームページにて公表いたします。

令和5年度使用教科書に係る音声教材の需要数調査結果については、下記URLにて公表しています。

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/kyoukasho/1411868.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kyoukasho/1411868.htm)

## 音声教材とは

音声教材とは、発達障害等により、通常の検定教科書では一般的に使用される文字や図形等を認識することが困難な児童生徒に向けた教材で、パソコンやタブレット等の端末を活用して、教科書の内容を音声で読み上げる等の機能を持つ。「障害のある児童及び生徒のための教科用特定図書等の普及の促進等に関する法律」(教科書バリアフリー法)に基づき、教科書発行者から提供を受けた教科書デジタルデータを活用して製作している。文部科学省は、以下の団体に調査研究を委託しており、その成果物である音声教材を読みにくい児童生徒に無償提供している。

## 音声教材製作団体の概要

## マルチメディアデージー教科書(公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会)

<https://www.dinf.ne.jp/doc/daisy/book/daisytext.html>

- 主な特徴:専用のアプリケーションまたは端末のブラウザ機能(オンライン)で使用する。音声、本文等テキスト、挿絵等の図版を含む。ハイライト機能、ルビ表示機能等あり。音声は肉声及び合成音声。**視覚と聴覚から同時に情報が入り内容理解がしやすい。**小学校・中学校の教科書を中心に作成。
- Windows, iOS, Android, Chromeで使用可能。
- 利用者実績:19,588人(令和4年度)



## ペンでタッチすると読める音声付教科書

(茨城大学)

<http://apricot.cis.ibaraki.ac.jp/textbook/>

- 主な特徴:パソコンやタブレット等のICT端末は使わず、**紙冊子と音声ペンで使用する。**紙冊子は通常の教科書と見た目がほぼ同じで、鉛筆等で書き込み可能。持ち運びやすく、小学校低学年でも簡単に一人で操作できる。音声ペンで文字をタッチして読むことで意識が紙面に向き、能動的な読書になる。音声は肉声。小学校・中学校の国語・社会の教科書を中心に作成。
- 利用者実績:834人(令和4年度)



## AccessReading

(東京大学先端科学技術研究センター)

<https://accessreading.org/>

- 主な特徴:**Microsoft Wordや電子書籍リーダーのアクセシビリティ機能を使用する。**本文等テキスト、挿絵等の図版を含む。読み上げは合成音声。文字の大きさ、色の変更、ハイライト機能など、アプリの機能で様々な調整が可能。小学校高学年・中学校・高校の教科書を対象。
- Microsoft Wordまたは電子書籍リーダーが使用できるOSで使用可能。
- 利用者実績:213人(令和4年度)



## UD-Book

(広島大学)

<https://home.hiroshima-u.ac.jp/ujima/onsei/index.html>

- 主な特徴:専用のアプリケーションまたは端末のブラウザ機能(オンライン)で使用する。**固定表示(原本教科書に似せた表示)・行移表示(文字だけの表示)**の両方で、テキストを合成音声で読み上げる。固定表示・行移表示を同時に表示することや、固定表示では見開き表示をすることが可能。ハイライト機能、ルビ表示機能等あり。小学校・中学校・高等学校の教科書を対象。
- Windows, iOS, macOS, Chromeで使用可能。
- 利用者実績:215人(令和4年度)



## 音声教材BEAM

(NPO法人エッジ)

<https://www.npo-edge.jp/use-edge/beam/>

- 主な特徴:**音声のみの教材**(テキストや挿絵等の図版はなし)。MP3を再生できる全ての機器(パソコンやタブレット、スマートフォン、ICレコーダー等)で使用可能。音声は、肉声に近い合成音声。データ容量が軽く、操作が簡便で、耳からの情報に集中できる。小学校・中学校の国語・社会、中学校の理科、高等学校の国語・社会を中心に作成。
- 利用者実績:187人(令和4年度)



## UNLOCK

(愛媛大学)

<http://treasure.ed.ehime-u.ac.jp/unlock/index.html>

- 主な特徴:**パソコン・タブレット端末か音声ペンでの利用を選択可能。**音声ペンの場合、紙の教科書に再生用シールを貼って使用する。パソコン・タブレット端末の場合、音声データ(MP3)とテキストのPDF・EPUBを提供。音声は合成音声。児童生徒の障害特性や状態によっては、音声の種類(男女の声質・話し方)・再生速度の選択を相談可能。小学校・中学校・高等学校の教科書を対象。
- 利用者実績:83人(令和4年度)



教材についての詳細: <https://www.dinf.ne.jp/doc/daisy/book/daisytext.html>使用方法・  
対応OS

Windows, iOS, Android, Chrome

アプリケーションによる再生 (ダイジーポッド、ChattyBooks、いーリーダー、しゃべる教科書、ボイスオブダイジー5)、ブラウザ再生

## 教材の構成

テキスト、挿絵、音声

対応している  
教科書

小学校 (全教科) 中学校 (全教科)

読み上げ  
音声

肉声又は合成音声 (教材により異なる)

その他の  
機能

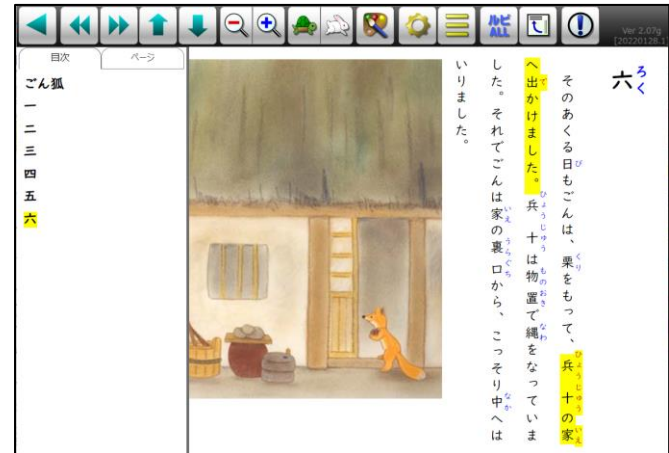
- ハイライト機能、ルビ表示 (総ルビ、教科書ルビ、学年段階ごと)、分かち書き (一部の教材で対応)、縦書き・横書きの変更、文字の拡大・縮小、文字色・背景色の変更 等
- 音声とテキストが同期し、画像も表示されることにより、視覚と聴覚から同時に情報が入り、内容理解がしやすい。
- 学習障害、発達障害をはじめ、多くの読みに困難をかかえている生徒に対応。

## サンプル

- 教材のサンプル <https://www.dinf.ne.jp/doc/daisy/book/daisytext.html>  
※上記ページの中ほどに公開しています。
- ブラウザ再生のデモ <https://mpf.jsrpd.jp/>  
デモ用アカウント情報 ログイン名: I0025 パスワード: I2345678

その他の  
情報

提供している教材リストを公開しています。

[https://www.dinf.ne.jp/doc/daisy/book/daisytext\\_r5.html](https://www.dinf.ne.jp/doc/daisy/book/daisytext_r5.html)

## 使用方法・ 対応OS

Windows, iOS, iPadOS, macOS, Android, Chrome  
DOCX形式: Microsoft Word  
EPUB形式: iOSのブック、Android, ChromebookのGooglePlayブックス等

## 教材の構成

テキスト、挿絵

## 対応している 教科書

小学校(高学年)、中学校、高等学校  
(いずれも地図、書写を除く)

## 読み上げ 音声

合成音声(リーダーの読み上げ機能を使用)

## その他の 機能

- 文字の大きさ、色の変更、ハイライト機能など、使用するアプリの機能で様々な調整が可能。
- Word版とEPUB版の2種類を作成。パソコン等のアクセシビリティ機能を使用する。

## サンプル

<https://accessreading.org/sample.html>

## その他の 情報

- 提供している教材リストを公開しています(月に1度更新しています)。  
[https://accessreading.org/e-text\\_list.html](https://accessreading.org/e-text_list.html)
- 音声教材情報提供サイトを公開しています。  
<https://accessreading.org/aem/>



# 音声教材BEAM (NPO法人エッジ)

教材についての詳細: <https://www.npo-edge.jp/use-edge/beam/>

## 使用方法・ 対応OS

MP3を再生できる全ての機器(パソコンやタブレット、スマートフォン、ICレコーダー等)で使用可能

## 教材の構成

音声

## 対応している 教科書

小学校(国語・社会) 中学校(国語・社会・理科) 高等学校(国語・社会)

## 読み上げ 音声

肉声に近い合成音声

## その他の 機能

音声のみの教材であるため、データ容量が軽く、操作が簡便で、耳からの情報に集中できる。

## サンプル

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLURmXYpULEEsDUAKa7UHNKLWj6pON5MP8>

## その他の 情報

BEAMに関する情報をYoutubeでご覧いただけます。

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLURmXYpULEEvmaghAChId7-3PZJn5IFIq>





# ペンでタッチすると読める音声付教科書（茨城大学）

教材についての詳細：<http://apricot.cis.ibaraki.ac.jp/textbook/>

## 使用方法・ 対応OS

紙冊子と音声ペン（パソコンやタブレット等は使用しない）

## 教材の構成

通常の教科書と見た目がほぼ同じ紙冊子、音声ペン（SDカードにデータを格納）

## 対応している 教科書

小学校（国語・社会） 中学校（国語・社会）

## 読み上げ 音声

肉声



## その他の 機能

- 紙冊子には鉛筆等で書き込み可能。
- 持ち運びしやすく、小学校低学年でも簡単に一人で操作できる。
- 音声ペンで文字をタッチして読むことで意識が紙面に向き、能動的な読書になる。
- 拡大版も提供可能。

## サンプル

インターネット上でのサンプル公開はありませんが、申請を検討中の方を対象に、音声付教科書の短期貸し出しを行っています。

<http://apricot.cis.ibaraki.ac.jp/textbook/rental.html>

## その他の 情報

- 提供している教材リストを公開しています。  
<http://apricot.cis.ibaraki.ac.jp/textbook/about.html>
- 初期費用として音声ペンの購入等が必要です。



# 文字・画像付き音声教材 UD-Book (広島大学)

教材についての詳細: <https://home.hiroshima-u.ac.jp/ujima/onsei/index.html>

## 使用方法・ 対応OS

Windows, iOS, macOS, Chrome  
アプリケーション(UD-Bookリーダー)(無料)による再生

## 教材の構成

テキスト、挿絵(全ての図表等)、音声  
固定表示(原本教科書に似せた表示)・行移表示(文字だけの表示)が可能

## 対応している 教科書

小学校 中学校 高等学校(それぞれ全教科)

## 読み上げ 音声

読み方を指定した合成音声

## その他の 機能

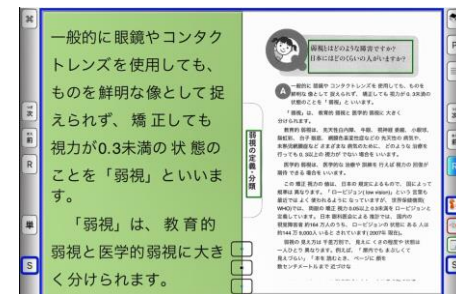
- 読み上げ、ハイライト機能、ルビ表示(総ルビ)、縦書き・横書きの変更、文字の拡大・縮小、フォントの変更、文字色・背景色の変更 等(固定表示は原本のレイアウトを保持する必要があるため一部機能に制限があります。)
- 固定表示、行移表示の同時表示。固定表示では見開き表示
- 線などの描き込み、テキストのメモ機能、ページ番号の指定表示等
- ハイライト領域サイズの長・短設定、音量・読み速度の設定 等

## サンプル

- 教科書ではない図書によるサンプル教材を提供しています。取得方法や使用方法等についてもホームページにて掲載しています。  
<https://home.hiroshima-u.ac.jp/ujima/onsei/3riyouthou.html>

## その他の 情報

- 導入時の読みの評価、導入後の授業での活用など音声教材の効果を最大化するための相談やサポートを実施しています。
- 令和5年度よりUD-Book(オンライン版)の提供を行います。



# UNLOCK (愛媛大学)

教材についての詳細: <http://treasure.ed.ehime-u.ac.jp/unlock/index.html>

## 使用方法・ 対応OS

Windows, iOS, iPadOS, macOS, Android, Chrome  
音声はMP3を再生できる全ての機器で使用可能

## 教材の構成

テキスト、音声

## 対応している 教科書

小学校 中学校 高等学校(それぞれ全教科)

## 読み上げ 音声

合成音声(基本的には女性の声。ただし、児童生徒の障害特性や状態によっては、男性・女性、明るい声・落ち着いた声の選択は相談可能。)

## その他の 機能

- パソコンやタブレット端末、音声ペンにより利用可能。
- 音声ペンの場合は、音声のみの教材(紙の教科書に再生用シールを貼って使用)。
- パソコンやタブレット端末にて利用する場合、音声データと、テキストを表示するPDF・EPUBを提供。
- 児童生徒の障害特性や状態によっては、音声の種類(男女の声質・話し方)・再生速度の選択を相談可能。

## サンプル

音声のサンプルを公開しています。  
各端末の紹介・使用方法等についてもホームページにて掲載しています。  
<http://treasure.ed.ehime-u.ac.jp/unlock/paper.html>

## その他の 情報

学内のインクルージブ教育相談事業と連携し、導入時の読みの評価・導入後の授業での活用など、利用者・学校へのサポートを実施しています。



## 令和5年度 音声教材普及推進会議 実施要項

## 1. 趣旨

発達障害等により、通常の検定教科書等において一般的に使用される文字や図形等を認識することが困難な児童生徒に向けた教科用特定図書等としての音声教材について、各教育委員会等の教科用特定図書等の担当者等に対して周知を図り、もって音声教材の普及推進に資することを目的として本会議を開催する。

## 2. 対象者

- (1) 各都道府県教育委員会の教科用特定図書等担当者
- (2) 市区町村教育委員会の教科用特定図書等担当者
- (3) 学校の教員、保護者等

## 3. 開催日程等

日時：令和5年9月15日（金） 13：00～16：00

会場：文部科学省東館3階講堂（東京都千代田区霞が関3-2-2）

なお、下記「4. プログラム」（2）～（4）については、当日の様子を録画したものを、後日文部科学省ホームページに掲載する。

## 4. プログラム

- |   |             |
|---|-------------|
| (1) 開会  | 13：00       |
| (2) 文部科学省挨拶・行政説明                                      | 13：00～13：20 |
| (3) 講演1   | 13：25～13：50 |
| 「アセスメント及び地域支援体制整備について（仮）」                             |             |
| 東京大学先端科学技術研究センター 近藤 武夫 教授                             |             |
| (4) 講演2（音声教材の活用事例発表など）                                | 13：50～14：15 |
| 講演者調整中  |             |
| (5) 閉会  | 14：15       |
| (6) 音声教材体験会   | 14：15～16：00 |
| （会場にて、音声教材のサンプルをご覧いただくことができます。音声教材を製作する団体の関係者が対応します。） |             |

音声教材の特徴・使用方法等については、各製作団体\*の説明動画・資料を文部科学省ホームページに掲載するので、適宜参照してください。

掲載 URL：[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/kyoukasho/1422882\\_00003.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kyoukasho/1422882_00003.htm)

※令和5年度 音声教材等の効率的な製作方法等に関する調査研究 受託団体

- ・公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会（マルチメディアデイジー教科書）
- ・東京大学先端科学技術研究センター（AccessReading）
- ・特定非営利活動法人エッジ（音声教材 BEAM）
- ・茨城大学（ペンでタッチする音声付教科書）
- ・広島大学（UD-Book）
- ・愛媛大学（UNLOCK）

## 5. 参加登録

都道府県教育委員会は、上記「対象者」に該当する域内の参加希望者を取りまとめ、文部科学省教科書課あて提出すること。

## 6. 質問事項等記入用紙の提出

- (1) 本会議における情報発信等の参考とするため、都道府県教育委員会の教科用特定図書等担当者は、域内の市区町村教育委員会において音声教材に関する質問事項等があれば取りまとめ、文部科学省初等中等教育局教科書課宛て提出すること。
- (2) 質問事項等を提出する際には、あらかじめ、下記URLにおいて掲載している過去の音声教材普及推進会議の配布資料・説明動画や音声教材に関するQ&A等を確認すること。

(文部科学省ウェブサイト)

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/kyoukasho/1374019.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kyoukasho/1374019.htm)

## 7. その他

- (1) 本会議の事務局は文部科学省初等中等教育局教科書課が行う。
- (2) 参加者の旅費は各教育委員会等の負担とする。
- (3) 本会議の参加者数が会場の収容人数を超えた場合は、参加者数を調整する場合がある。
- (4) その他、本会議の開催に必要な事項は別に定める。